

お父さん…お母さん…先生…
届いていますか、子どもたちの心の叫び

いじめゼロをめざして

家庭と学校の連携



上映時間	30分
16ミリ版	220,000円
ビデオ版	90,000円
価格は税抜(C # 2591)	

 東映株式会社 教育映像営業部

〒104 東京都中央区京橋2-6-12 ☎03-3272-5191 FAX.03-3273-7949

制作意図

現在のいじめは見えにくいといわれている。子どもたちは大人たちを信用せず、それを必死に隠そうとするからだ。一方大人たちは彼(女)たちの行動の裏に大人社会の歪みが大きく影響していることに気付いていない。

いじめ事件が起きたとき親はどう対処したらいいのか。学校は親や子どもにどう対応したらよいか。親や教師の責任と役割を考え、いじめゼロをめざして子どもたちのSOSを少しでも早くキャッチする努力を呼び掛けます。

対 象

■社会教育(家庭・学校) 学校教育(中学生)

あらすじ

■見えにくいいじめ——本間英美(中2)は、同じクラスの中垣夕子たちのグループから学用品を隠されたり体操着を破かれるなどの陰湿ないじめを受けていた。しかし“自分はいじめられるタイプじゃない”という自負がある英美は、努めて明るく振る舞い、そのことを誰にも言えず一人悩んでいた。一方、夕子たちも教師の前では巧みに仲良しを装っていた。

■何も知らない教師たち——母公美子も英美からの学用品購入の請求が多くなり、変とは思いが“いつもの英美らしくないわね”と深くは考えなかった。そんなある日、英美が書き残したメモから英美が[いじめ110番]に電話したことを知った。そのうえ、破れた体操着を見つけた公美子は、血相変えて学校へ飛んでいき“うちの子がいじめられているんです。すぐ調べて下さい”と訴える。しかし、当の学校では担任の西尾先生も生徒指導の清水先生も何も気づいておらず、校長先生もしどろもどろで要領を得なかった。

■養護教諭の役割——クラスの生徒たちにただしても、真相がつかめない西尾先生は養護教諭の天野先生に相談する。天野先生は、昼間保健室に来た英美の様子におかしなものを感じながらもそのまま帰してしまい“養護教諭は身体のケアだけでなく、心

のケアの対応も求められてくる”と反省する。そして、子どもたちをいじめるタイプといじめられるタイプに決めつけてしまうと、真実が見えにくくなるとアドバイスする。

■いじめ露見——翌日、登校拒否をする英美を公美子は無理やり学校へ送り込む。教室に入れない英美は保健室に駆け込み、悩みを訴えようとするが何も言えない。そんな英美に天野先生は“問題を解決するにはいじめられている本人が真実を話さしかないのよ。いつでもいっしょ”と優しく声をかけた。ところが下校時、英美は“保健室で何をチクッた”と公園で夕子たちにリンチをうけ大ケガをする。そこを、偶然通りかかった公美子が目撃し、いじめは露見する。

■いじめの構図——関係者が集まった中垣家の居間で、中垣夫妻を公美子が激しく追及する。それに対して、夕子を激しく叱責する父敏夫に、母道子は“うちの子に限って…”とただおろおろするばかり。あまりの敏夫の激しさに同席した教師もなだめようがない。その時夕子の姉朝子が“夕子のいじめは家庭環境の歪みから生じたストレスが原因。子どもの悩みに気づかない大人、お座なりな対処し olmayan 学校にも責任がある”と鋭く追及する。

■家庭と学校の連携——事件の反省から、学校側は生徒の悩みを先生・生徒・保護者の共通の問題として認識する事が大切と、生徒にアンケート調査を実施し、共通する問題を生徒や保護者に発表した。そして、日常の中で悩みを持った子どもたちの“SOS”をキャッチするには沢山の目が必要。その為には子どもたちの問題を学校任せにせず、日頃から“親は子どもの最大の理解者”と分かってもらえる家庭を作り、何でも話せる健全な親子関係の維持が大切で、いじめ根絶には、そうした家庭と学校の連携が必要不可欠であると保護者たちに呼びかけた。

制作……東映株式会社教育映画部

企画……山上 晃 監督……小出啓弼
松本寿夫 撮影……村中正光
脚本……小出啓弼 照明……田久保 剛
高橋 彩

●お買い上げは……

関東営業所 東京都中央区京橋2-4-12 〒104 ☎03-3272-5191
新潟出張所 新潟市東堀前通り六番町 〒951 ☎025-222-3091
関西営業所 大阪市北区曽根崎新地1-13-22 〒530 ☎06-345-9026
広島出張所 広島市中区国泰寺町1-5-31 〒730 ☎082-249-3930
高松出張所 高松市本町11-7 〒760 ☎0878-51-3766
中部営業所 名古屋市中区錦3-24-3 〒460 ☎052-971-0923
九州営業所 福岡市博多区博多駅中央街5-12 〒812 ☎092-473-8541
東北営業所 仙台市青葉区二日町13-26-305 〒980 ☎022-222-7613